

# 長野リーグ・実業団リーグ（A級）・実業団対抗B級トーナメント

## 大会規則

第一条 本規則の対象大会及び基礎となる大会ルール

第一項 競技に関する基礎となる大会ルール

①（財）日本テニス協会のテニス規則による。

第二項 リーグに関する（A級）基礎となる大会ルール

①日本リーグの大会規則

第三項 本規則の対象となる大会

① 長野リーグ（A級）、実業団リーグ（A級）、トーナメント（B級）大会が対象。  
北信越リーグ長野県予選（A級）

第二条 代表決定、順位決定方法

第一項 代表決定

① 長野県代表は、男子は、テニス・長野リーグの上位チームより全リーグ終了後、北信越リーグに参加・不参加を確認し決定する（A級）。

女子は、北信越リーグ女子長野県予選の1位チームとする。（長野リーグおよび実業団1部リーグに参加チームとする）（A級）。

② 全国大会開催県枠が与えられた場合はトーナメント優勝チームもしくは全国大会成績優秀チームに与える（B級）

③ 北信越予選に対する長野県代表枠：開催県枠チームを除く上位チーム（B級）

第二項 順位決定順序（A級） 2017年11月20日改正

① 順位は、チーム勝率が一番高い順に決定される。

② 2チームの勝率が同じ場合は、直接対決の勝者を上位とする。3チーム以上の場合は適用しなくなります

③ 3チーム以上の勝率が同じ場合は、取得試合率《ポイント》（自チームの全勝ち試合数÷自チームの全試合数）の高い方を上位とする。

④上記でも解決できない場合は、取得セット率（自チームの全取得セット数÷自チームの全セット数）の高い方を上位とする。

⑤上記でも解決できない場合は、取得ゲーム率（自チームの全取得ゲーム数÷自チームの全ゲーム数）の高い方を上位とする。

⑥最後として、リーグ順位が上位チームを上位とする。

第三条 団体賞、個人賞

第一項 団体賞

① 長野リーグ1位、B級トーナメント、優勝は賞状・持回りカップ（2017年現在不明）（レプリカは、長野リーグのみで、出場選手全員に選手全員の名前が入ったものとし、選手または選手の代理人の希望により辞退もしくは商品に代える事が出来る）

② 長野リーグ、B級トーナメント2位、3位は賞状。

③ 実業団リーグ1部1位、2位、3位に賞状 ④実業団リーグ2部各組1位に賞状

\*賞状は要請があった場合に発行 2017年11月20日改正

第二項 個人賞（A級）

① 長野リーグにおいて通算勝利5勝選手、10、20、30、50勝を個人として表彰する。

② 長野リーグにおいて、MVP・優秀選手・敢闘選手・特別表彰（優秀新人・100勝達成）を表彰する。

③ 実業団1部リーグにおいて、MVP・優秀選手・敢闘選手を表彰する。

④ 実業団2部リーグ以下において、組（ブロック）ごと優秀選手を表彰する。

第三項 個人賞（A級+B級+{ゴールド+県チーム対抗戦}）

① A級+B級+{ゴールド+チーム対抗戦}において通算勝利100勝、200勝選手を個人として表彰する。

② A級+B級+{ゴールド+チーム対抗戦}において通算出場100試合、200試合出場選手を個人として表彰する。

#### 第四条 リーグ構成、リーグ入れ替え方式（A級）

##### 第一項 リーグ構成

- ①男子構成：テニス・長野リーグ（3セット3ポイント）8チーム  
実業団1部リーグ（1セット5ポイント）16チーム  
実業団2部リーグ（1セット3ポイント）12チーム  
実業団3部リーグ（1セット3ポイント）12チーム  
実業団3部リーグ予選（1セット3ポイント）無制限
- ②女子構成：テニス・長野リーグ（1セット3ポイント）6チーム  
1部リーグ（1セット3ポイント）6チーム

女子は2017年現在4チームのみで1セット5ポイントで行っている  
2017年11月20日改正

##### 第二項 リーグ入れ替え方式

- ① 男子リーグ：テニス・長野リーグと実業団1部入れ替え（3セット3ポイント）  
テニス・長野リーグ6位は、長野リーグ残留をかけて実業団1部リーグ3位のチームと入れ替え戦を行う。  
テニス・長野リーグ7位は、長野リーグ残留をかけて実業団1部リーグ2位のチームと入れ替え戦を行う。  
テニス・長野リーグ8位は、長野リーグ残留をかけて実業団1部リーグ1位のチームと入れ替え戦を行う。
- ② 男子リーグ：実業団1部、実業団2部入れ替え  
実業団1部リーグ各組7・8位は、実業団2部に降格する。  
《暫定》秋に4チームのうち1チームを残留させる（試合方法は要項による）  
実業団2部リーグ各組1位が、実業団1部に昇格する。  
《暫定》秋の大会終了後2位同志で1部昇格1チームを決定する。
- ③ 男子リーグ：実業団2部、実業団3部入れ替え  
実業団2部リーグ各組5・6位は、実業団3部に降格する。  
実業団3部リーグ各組1・2位が、実業団2部に昇格する。
- ④ 女子リーグ：テニス長野リーグと1部リーグ入れ替え  
テニス・長野リーグ5・6位は1部リーグに降格する。
- ⑤ 女子リーグ；1部リーグ1・2位がテニス・長野リーグに昇格する。

##### 第三項 リーグ構成の特例処置

- ① リーグ構成チーム数は、その年限り、ディレクターが判断し代表者の承認で変更できる。  
但し以下の理由からとする、本年度の日程調整、前年度の試合消化状況、  
本年度の記念大会。
- ④ 明らかに強いチームが参加を表明した場合その都度ディレクターが対応し、  
代表者が承認をする。

#### 第五条 オーダー表の提出、オーダー順等

##### 第一項 シングルスオーダー順について

- ① 男女長野リーグ・北信越リーグ長野県予選における、シングルス1、2の決定は、あらかじめ上位順（最新JTA最優先・最新長野県ランキング優先）に登録された順番をくずしてはならない。  
レフリーは、全チームの登録順の公示およびオーダーチェックを行う。  
チームは、選手登録用紙を最新JTA最優先・最新長野県ランキング優先をもとに選手全員に上位順に順番をつけて提出する。（最新JTAおよび長野県ランキングはインターネットにて掲載されています）この項当面凍結 2017年11月20日改正
- ② テニス長野リーグにおいて、当面制限がありません。2017年11月20日改正
- ③ 長野実業団1部・2部・3部においては、当面制限がありません。

##### 第二項 ダブルスオーダー順について

- ①実業団リーグ1部以下には何ら制限がありません。
- ②女子長野リーグ（5ポイントの場合）何ら制限がありません。  
2017年11月20日改正
- ③ビジネスパル（B級）には何ら制限がありません。

第三項 メンバーの重複

- ① 男子長野リーグ・北信越リーグ長野県予選においてはシングルスとダブルスの重複不可
- ② 男子実業団1部リーグにおいてはシングルスとダブルスの重複可・男子2部・3部リーグにおいてはシングルスとダブルスの重複不可
- ③ 女子長野リーグにおいては、3セット3ポイントの場合シングルスとダブルスの重複不可。1セット5ポイントの場合シングルスとダブルスの重複可
- ④ ビジネスパル（B級）においてはシングルスとダブルスの重複は不可

第四項 オーダー提出時のメンバー所在について

- ① オーダー提出時もしくは、試合前のメンバー紹介時には必ずしも出場メンバーが全員揃っていなくてもよい。（長野リーグ）
- ② 試合前のメンバー紹介時には出場メンバーが全員揃っていなければいけない。（A級実業団1、2、3部、B級・北信越リーグ長野県予選）

第五項 オーダー提出後のメンバー変更について

- ① 試合の勝敗が決定した場合、メンバー変更ができる。ただし相手監督に通告する。
- ② 雨天順延の場合、試合が開始されていない場合のみメンバー変更できる

第六項 オーダー交換後のメンバー変更について

オーダー交換時にまだ前の試合行っている選手が故障した場合、その選手を交換できる

2017年11月20日改正

第七項 DEFポイントがある場合のオーダー提出について

- ① ポイントは下位ポイントからとする。  
5ポイントの場合、シングルス3/ダブルス2から。  
男子長野リーグ・女子長野リーグ（3ポイント）の場合、シングルス2もしくはダブルスを選択できる。  
ビジネスパル（B級）の場合、シングルスもしくはダブルス2を選択できる。
- ② 相手チームに通告  
オーダー交換前にDEFポイントを相手チームに通告しなければならない。

第六条 各対戦、各対戦の試合消化量、試合順序

第一項 対戦

- ① B級は、男女とも 2ダブルス、1シングルの3対戦
- ② A級・男子長野リーグ・女子長野リーグ（女子は当面5ポイント）  
: 1ダブルス、2シングルの3対戦
- ③ A級・男子実業団1部リーグ : 2ダブルス、3シングルの5対戦
- ④ 男子実業団2部（A級）以下 : 1ダブルス、2シングルの3対戦

第二項 A級・各対戦の公式試合

- ① 入れ替え戦を除き、男子長野リーグは、2シングルス、1ダブルスの3対戦  
男子実業団1部リーグは、3シングルス、2ダブルス、の5対戦、  
男子実業団2部以下・2シングルス、1ダブルスの3対戦を原則として行うが、  
1日で消化するため促進ルールとして1・2対戦でも成立する。
- ② 入れ替え戦は、勝敗決定後は1セットとして行ってもよい。

第三項 B級各対戦の打ち切り及び公式記録（B級）

- ① B級は男女とも、2ダブルス、1シングルの3対戦  
原則として全ての試合は打ち切りをしない
- ② 日程など不可抗力の場合、勝敗の決まった時点で次の優先で試合を終了する。
  - 1) ゲーム終了（ゲーム途中では終了してはならない）
  - 2) レフリー判断（運営上問題が生じるおそれがある場合）
  - 3) 選手判断（リードしている選手が続行したく無い場合）
  - 4) 選手判断（リードされている選手が続行したく無い場合）
  - 5) チーム判断（勝ったチームが最後には、決断する）
- ③ 公式記録として（検討中）

#### 第四項 試合順序

- ① 男子実業団1部リーグの試合順序は、原則として  
ダブルス2→ダブルス1→シングルス3→シングルス2→シングルス1である。
- ② 男子実業団2部リーグ以下の試合順序は、原則として  
ダブルス→シングルス2→シングルス1である。
- ③ 男子長野リーグ・北信越リーグ長野県予選の試合順序は、原則として  
シングルス2→シングルス1→ダブルスである。
- ④ B級試合順序は、原則としてダブルス1→シングルス→ダブルス2である。

#### 第七条 試合の審判、スコアラー

##### 第一項 審判、スコアラーの原則

- ① 審判は、セルフジャッチ方式またはソロチェア方式で行う。特にテニス・長野リーグはソロチェアが望ましい。
- ② 試合中のゲームスコア表示について
  - ・コートチェンジ毎に選手がスコアボード書きかえる。
  - ・対戦チームの人が代行してもよい。
  - ・書き換える時間は、コートチェンジの制限時間にプラスされる。
  - ・スコアが会場の都合でない場合は、スコア表示はおこなわない
- ③ 試合結果は、勝者が本部に報告する。

##### 第二項 審判トラブルについて（セルフジャッチのとき）

- ① 審判は、必要に応じてレフリーが他チームに依頼できる（試合の途中でもよい）
- ② 大会役員、競技役員、レフリーがコートレフリーを兼任しているので、ミスジャッチ・フットフォルト等をオーバーコールすることがある。

#### 第八条 試合進行ボードについて（オーダーオブプレー）

##### 第一項 大会中掲示の義務

- ① 大会中は、運営側がボードもしくは印刷物を用意する。進行ボードの掲示については、監督・選手・運営が協力して行う。
- ② 男子実業団2部リーグ以下・は基本パターンがある（別記）のでそれにより進行することを原則とする。

#### 第九条 チーム旗掲示について（現状にそぐわないので当面実施しなくてもよい）

##### 第一項 試合中掲示の義務

- ① 社旗およびチーム旗は、試合中コートに掲げることとする。
- ② 掲載場所は、チームベンチもしくはコートのネットとする。

#### 第十条 コーチング

##### 第一項 コーチングの義務

- ① ベンチには、1名チーム内のひとがはいること。
- ② ベンチには、2名までならチームに関係のある人は、入ることが出来る。
- ③ 人不足のチームは、出来る限りマネージャー等参加させてベンチ入りをする事、最悪ベンチには人がいなくても良い  
但し、選手休憩以外の試合チームの人がコート外に居た場合ベンチに入るよう注意する。

#### 第十一条 試合球について

##### 第一項 使用回数

- ① 1試合に2個使用。ただし3セットマッチでは・1セット2ボールとするか  
もしくは、9ゲーム/11ゲーム交換で行なう。

##### 第二項 種類

- ① 男女長野リーグ・実業団リーグの試合球は、  
ダンロップフォートイエローとする。
- ② ビジネスパル（B級）の試合球は、ブリジストンXT-8とする。
- ③ 上記以外は、日本テニス協会公認級とする。

##### 第三項 セットボール

- ① セットボールは1試合毎勝者が返還してください。

第十二条 試合前の練習及びトレーニングウェア着用について

- ① 試合前の練習（トレーニングウェア着用可）はA級・男女長野リーグ・男子実業団1部リーグは、5分以内、B級は、3分以内、B級コンソレ及び順位決定戦は、サービス4本とする。
- ② 男子実業団2部リーグ以下・はサービス4本とする。（ただし各チーム12分/1日が試合前に与えられる）
- ③ 試合中のトレーニングウェアの着用可否は当日レフリーが決定する。

第十三条 試合ゲーム数

- ①原則として、B級トーナメントは8ゲームマッチ  
コンソレーション及び順位決定戦はその都度決定するが、1セットマッチ主体。
- ② 男子長野リーグ（A級）は3セットマッチ（男子入れ替え戦は、3セットマッチ）  
**ダブルスのファイナルセットは、マッチタイブレーク（10ポイント）となります**  
2017年11月20日改正
- ③ 男子実業団1部リーグ以下は1セットマッチ。

第十四条 チームメンバー表提出及びメンバーの確定、資格 2017年11月20日改正

第一項 チームメンバー表の提出

- ① テニス長野リーグ/実業団リーグの実業団チームは当面提出はなし
- ② テニス長野リーグクラブチームは9名以内の登録メンバーを最初の試合の日に提出
- ③ B級トーナメントは9名以内の登録メンバーを試合日までに提出

第二項 テニス長野リーグ・B級トーナメント県予選のチームメンバーの資格

- ① テニス長野リーグの実業団チームは、北信越リーグの参加資格を適用  
（北信越リーグは日本リーグと同じ）
- ② B級トーナメント県予選はB級トーナメント北信越予選の参加資格を適用  
（北信越予選はビジパル全国大会と同じ）

第三項 実業団リーグの1部・2部・3部・4部（3部予選）のチームメンバーの資格

- ① 第十四条の運用付則にのっとる
- ② 内定者の出場は積極的に認める

第十四条 運用付則

- ① 連盟として、実業団員（あらゆる仕事をもった人対象）の多くが参加できるように参加資格もできるだけ幅広くしてきた。
- ② 代表決定される予選の場合のみ全国大会参加資格が適用される。
- ③ 代表決定される予選の場合以外の試合については、その加盟団体に関連した人の参加を認め、より多くのチームの参加を確保する。（アルバイト・関連会社・外注会社）

第十五条 大会参加出場チーム数及びシリーズ内での選手の重複制限

第一項 大会参加出場チーム数

- ① B級トーナメントにおいては、各登録事業所4チーム以内とする。
- ② A級リーグ（長野リーグ・実業団リーグ）においては、各登録事業所1チームとする。

第二項 シリーズ内での選手の重複制限

- ① A級リーグにおいては、特に春の大会と秋の大会の選手の重複について、（男子長野リーグ、実業団1部と男子実業団2・3部・4部（3部予選））以下の条件がある。
  - ・男子実業団4部（3部予選）、に新チーム出場の場合選手登録を重複してもよい。
  - ・上記以外の場合男子長野リーグ・実業団1部リーグ・同年度の実業団2部リーグ  
男子実業団3部・4部リーグ（3部予選）に出場できない。

第十六条 各試合での個人獲得ポイントについて

第一項 ポイント獲得開始時期および記録提示・保管責任

- ① 1991年4月1日よりの記録が提示されているものから採用する。
- ② 記録提示は、対戦した各チームの監督（責任者）が試合終了後ただちに行う。
- ③ 提出された記録保管は、事務局が行う。ただしデータベース化された記録は、CDにし各チームに配布し保管を義務付ける。現在は1年ごと1部リーグ以上の全チームに配布しています、数年または隔年ごとに全チームに配布しています。

第二項 対象種目および獲得ポイント

- ① 対象種目 テニス・長野リーグ（北信越リーグ予選を含む）（A級）  
 実業団リーグ（A級）、 実業団B級、 {ゴールドリーグ}  
 ②各種目の獲得ポイント

	男女B級		男子A	女子A
決勝戦	1	テニス・長野リーグ	1（勝）	1（勝）
準決勝	0・8	実業団1部リーグ 実業団2部リーグ	0・5	0・5
3位決定戦	0・7	長野・1部入れ替え戦	0・5	0・5
best 4決定戦	0・6	実業団3部予選リーグ	0・3	0・3
5-8位決定戦	0・5			
best 8決定戦	0・4	（長野リーグ8 game）	（0・7）	（0・7）
best 1 6決定戦	0・3	入れ替え戦1セット	0・3	
best 3 2決定戦	0・2	（入れ替え戦8 game）		（0・3 5）
best 6 4決定戦	0・1	{ゴールドリーグ}	0・7	
総合ポイント				

第十七条 通算獲得ポイントの個人ランキング

第一項 通算獲得有効範囲

①通算獲得は、とりあえず永年とするが50年後見直しをする。（2041年）

第二項 通算獲得ポイント個人ランキングの種類

- ① 種類 テニス・長野リーグ男子                      テニス・長野リーグ女子  
 実業団リーグ男子1・2・3部                      実業団リーグ女子1・2部  
 実業団リーグ男子3部予選（4部）                      実業団リーグ女子3・4部  
 長野リーグと実業団リーグの男子入れ替え戦  
 長野リーグと実業団リーグの女子入れ替え戦  
 実業団B級男子    実業団B級女子

**第十八条** テニス・北信越リーグ（A級北信越予選）/全国実業団対抗テニストーナメント（日本リーグ入れ替え戦）/テニス・日本リーグおよびビジネスパル北信越予選/ビジネスパル全国大会への参加に関する資料。

第一項 ビジネスパル軽井沢開催の開催地域枠（男子1・女子1）

ビジネスパル北信越予選に開催地域枠1位チームがあるが、北信越実業団委員会に枠の決定権を正式にゆだねる **軽井沢開催は当面ありません**

第二項 ビジネスパル北信越予選の方法（暫定試行中/北信越テニス協会実業団委員会で正式決定待ち） **恒久化している**

参加チーム 各県予選各2チーム に開催県2チームを加えた 12チーム

期間 6月（土）（日） 2日間

場所 5県持ち回り

試合方式 予選3チーム4ブロックで1位が決勝トーナメント（女子はチーム数がそろわない場合あり） **決勝トーナメントの2位決定戦が追加された**

予選突破 開催地域枠を除き、男子2チーム・女子2チームが全国大会に出場

第三項 ビジネスパル北信越予選のチーム構成（暫定試行中/北信越テニス協会実業団委員会で正式決定待ち）

- ① 長野県（北信越）以外の地域に在住のメンバーでも、チーム登録をその地域でしていない場合は、長野県（北信越）のチームメンバーとして登録・参加できる。
- ② 県予選にて代表となったチームは、その予選、又は他県予選（ビジネスパルの場合は北信越各県）で敗退した同一事業所チームのメンバーを加えることができる。  
各県予選を勝ち抜いた同一事業所チームが複数ある場合、そのメンバーを入れ替えてよい。

第四項 ビジネスパル全国大会

参加チーム 前回優勝・準優勝チーム 各地域予選男子29チーム 女子21チーム  
開催地域枠各1チームを加えた 男子32 女子24チーム

期間 8-9月 (木) (金) (土) (日) 4日間

場所 プリンスホテル (軽井沢・ニセコ・その他)

試合方式 予選4チームのリーグ戦を行い1位が決勝トーナメント

費用 エントリー代 9万 宿泊費(プリンスホテル) 交通費がかかる。

参加資格証明 予選の勝ちあがりとして各地域協会長印および参加メンバー名とそのメンバーの保証のため社印が必要となります。

チーム編成 ①部長・監督・マネージャ各1名。選手5名以上9名以内。

② 部長・監督・マネージャ・選手を兼任出来る。

③ 参加選手は、アマチュアで社員であること。

④ チームは、その所属する地域のメンバーで構成し、同一実業団といえども、その所属地域以外のメンバーを補充してはならない。但し、他地域に勤務等の場合で、出場地域で登録した選手であれば認める（2重登録の防止）

その他 選手試合中の服装：自チームの企業名またはロゴマークは制限しない。  
社旗の持参（試合中のコートのバックネットに掲揚する）

第五項 テニス・北信越リーグ

参加チーム 各県予選を勝ち抜いた男子5チーム 女子5チーム

期間 9月 (土) (日) 2日間 場所 5県のもちまわり

試合方式 5チームのリーグ戦 原則として3セットマッチ

第六項 全国実業団対抗テニストーナメント（日本リーグとの入れ替え戦）

参加チーム 男子 日本リーグから4チーム 各地域から12チームの計16チーム

2017年現在 17チームに増えている

女子 日本リーグから2チーム 各地域から14チームの計16チーム

2017年現在 参加チームは減少している

期間 10-11月 1R QF SF F の4日間

場所 広島広域スポーツセンター 試合方式 トーナメント 3セットマッチ

日本リーグ参加意思 この大会は日本リーグとの入れ替え戦が主目的なため、日本リーグに参加意思のないチームは参加できません。

女子はこの限りではありません

参加資格証明 予選の勝ちあがりとして各地域協会長印および参加メンバー名とそのメンバーの保証のため社印が必要となります。

第七項 テニス・日本リーグ

参加チーム 男子16チーム 女子 12チーム

期間 1次リーグ 12月 公式練習(木) 試合(金)(土)(日)

2次リーグ 1月 男子(水)-(日) 女子(木)-(日)

決勝トーナメント 2月 (金)-(日)

試合方式 男子8チーム2ブロック・女子6チーム2ブロックにわけリーグ戦

上位2チームが決勝トーナメントに出場、

シングル2ダブルス1の3ポイント(3セットマッチ) 選手の重複不可

参加費用 エントリー代 約150万に 宿泊費と 交通費がかかる。

場所 東京・横浜・兵庫

## チーム編成

男女：部長、監督、マネージャー各1名、トレーナーは複数可他合計8名以内、選手4名以上9名以内とする。（各チームの連絡担当者は、メンバー登録者に限る。）

\* 男女共選手が、部長、監督、トレーナー、マネージャーを兼任できる。

\* 選手は、平成29年10月1日現在およびそれ以降大会期間中を通じて以下①②③④のいずれかに限る。

① 当該実業団またはその連結決算対象の子会社と直接雇用契約のある従業員。

② 当該実業団が連結決算対象とされている親会社と直接雇用契約のある従業員。

③ J T A登録のプロフェッショナル選手およびJ T A登録のない外国籍選手で、当該実業団およびその連結決算対象の子会社と所属契約を締結している選手。なお、J T A登録のない外国籍選手の出場は1対抗につき1ポイント以内とする。

④ 学生については、①②同様当該実業団と直接雇用契約のある従業員であれば参加できる。

\* 女子チームについては、次の特例を認める。その際、所定の申請書を提出するものとする。チームの拠点を都道府県単位で定め、その拠点における社会人の選手を1ポイントに限り補強することができる。補強選手の条件は次の①または②を満たすこととする。

① チーム拠点（都道府県）の在住または在勤の社会人であること。

② チーム拠点（都道府県）の中学・高校・大学のいずれかを卒業している社会人であること。

\* チームは同一実業団であれば、所属地域に関係なくベストメンバーを組むことができる。

その他 選手試合中の服装：自チームの企業名またはロゴマークは制限しない。  
社旗の持参（試合中のコートバックネットに掲揚する）

### 第十九条 実業団リーグの組み分け方法

#### 第一項 男子実業団1部リーグ・1組2組の組み分け方法

各組最終順位が決定されたあと偶数順位のチームを入れ替える。

#### 第二項 男子実業団2部リーグ・3部リーグ1組2組の組み分け方法

各組最終順位が決定されたあと偶数順位のチームを入れ替える。

### 発行・改訂

1992年5月1日	発行
1992年8月2日	改訂
1993年2月7日	改訂
1994年2月1日	改訂
1994年6月20日	改訂
1994年9月10日	改訂
1996年3月16日	改訂
1997年1月26日	改訂
1998年2月28日	改訂
1998年12月6日	改訂
1999年12月5日	改訂
2000年12月5日	改訂
2001年12月1日	改訂
2002年11月30日	改訂
2003年10月20日	改訂
2004年12月10日	改訂
2006年2月16日	改訂
2007年4月21日	改訂
2017年11月20日	改訂

別記（6チームリーグ戦1日消化の基本オーダーオブプレー）

オーダーオブプレー

	A	B	C	D	E	F	勝敗	順位
A	*	⑬	⑦	①	④	⑪		
B	⑬	*	⑩	⑧	②	⑤		
C	⑦	⑩	*	⑥	⑭	③		
D	①	⑧	⑥	*	⑫	⑮		
E	④	②	⑭	⑫	*	⑨		
F	⑪	⑤	③	⑮	⑨	*		

	1	2	3	4
8:30-8:42	A公式練習	D公式練習	B公式練習	E公式練習
8:45試合開始	①A対D D(審判C)	①A対D S1(審判C)	②B対E S1(審判F)	②B対E D(審判F)
	①A対D S2(審判C)	C公式練習(12分) ③C対F S1(審判B)	F公式練習(12分) ③C対F D(審判B)	②B対E S2(審判F)
	③C対F S2(審判B)	④A対E S2	④A対E S1	④A対E D
	⑤B対F D(審判A)	⑤B対F S1(審判A)	⑥C対D S1(審判E)	⑥C対D D(審判E)
	⑤B対F S2(審判A)	⑦A対C S1(審判D)	⑦A対C D(審判D)	⑥C対D S2(審判E)
	⑦A対C S2(審判D)	⑧B対D S1	⑧B対D D	⑧B対D S2
	⑨E対F S1	⑨E対F D	⑩B対C S1	⑩B対C D
	⑨E対F S2	⑪A対F S1	⑪A対F D	⑩B対C S2
	⑪A対F S2	⑫D対E S2	⑫D対E S1	⑫D対E D
	⑬A対B S1	⑬A対B D	⑭C対E D	⑮D対F D
	⑬A対B S2		⑭C対E S1	⑮D対F S1
			⑭C対E S2	⑮D対F S2

注意事項

- 1) 試合は1セットプロセットマッチ(12ポイントタイブレーク)(ノーアドではありません)
- 2) 最初の試合開始前(8:45)までに3対戦分のオーダー用紙(ダブルス・シングルス1・シングルス2のメンバー表)を本部(本部提出用)まで提出する
- 3) オーダー用紙提出後のメンバー変更は対戦試合が始まる前まで変更可